

科目名	図書館資料論Ⅱ			科目コード	5307
開講学科	司書課程	単位数	2	形態	講義
教員名	村岡和彦				
授業の目的及びテーマ					
学術資料が先行して情報流通のデジタル化・ネットワークが進行しているが、それは従来の紙メディアをベースとしたメディア環境とは異なる展開を見せてきている。こうした状況の下で、情報流通を支える様々な技術が図書館サービスと図書館をめぐる状況におよぼす影響について学び、今後の図書館の課題を把握する。					
授業概要					
図書館情報資源論Ⅰで扱ったトピックの内、電子資料・ネットワーク情報資源としての展開に特に注目し、デジタル・アーカイブも含めた最新の事例を織り込みながら、それらが単に「紙の資料」を「電子資料」に置き換えただけの段階からさらに進んで展開し、図書館サービスそのものの変容を生み出している状況を学ぶ。					
授業計画					
第 1 回：はじめに／図書館の変容（１）情報技術・機械化・デジタル化					
第 2 回：図書館の変容（２）デジタル化と情報機器					
第 3 回：情報技術の現況と図書館					
第 4 回：学術情報の流通体制の変化（１）図書館が扱い資源の変化					
第 5 回：学術情報の流通体制の変化（２）オープンアクセス・機関リポジトリ					
第 6 回：図書館業務システムから次世代型図書館システムへ（１）図書館システムの変貌					
第 7 回：図書館業務システムから次世代型図書館システムへ（２）ディスカバリーサービスと次世代図書館システム					
第 8 回：情報技術の利用にかかわる法律、権利、訴訟（１）デジタル著作権と図書館サービス					
第 9 回：情報技術の利用にかかわる法律、権利、訴訟（２）コンテンツの利用に関わる権利と訴訟					
第 10 回：情報技術の動向と新たな動き：大学図書館					
第 11 回：情報技術の動向と新たな動き：公共図書館					
第 12 回：情報技術の動向と新たな動き：国立国会図書館と関連機関					
第 13 回：図書館を介した利用者サービスへの情報技術の影響					
第 14 回：各種の情報サービス機関が図書館に及ぼす影響					
第 15 回：図書館が今後取り組むべき課題					
テキスト	『デジタル環境と図書館の未来：これからの図書館に求められるもの』 細野公男、長塚隆 編 (日外アソシエーツ 2015)		参考文献		
評価方法：					
課題 2 課題と試験による					